

北辰小学校 森林教室

第2回 ~辰の子の森の木で作ってみよう~

令和2年度に引き続き、新潟県南魚沼市立北辰小学校4年生の児童55名を対象に、「総合的な学習の時間」の一環で森林教室を実施しています。2回目の今回は、学校林「辰の子の森」から持ってきた小枝などを使って木工を行いました。2時間の短い授業時間の中で集中して製作に取り組んでくれました。

「辰の子の森」のクロモジの葉

木工前に、年輪の話

質問1：みんなが持っているスギのプレートに、輪の模様がありますね。これは何だか知っていますか？

「年輪です(簡単)！」

質問2：では、その年輪がどうしてできるのか、知っていますか？

「え！？年輪ができる原因…！？」



スギは、成長に適した時期(夏)に育った部分と、適さない時期(冬)に育った部分の色が違います。日本には四季があるので、色の違う部分が交互にできて年輪になるんだよ。



小刀の使い方

小刀の使い方のコツを教わります。小刀は職員が使うのを見ると簡単そうだけど、自分で削ろうとすると…



“小枝えんぴつ”作り

小枝に手動ドリルで穴をあけてえんぴつ芯を入れ、本当に字が書ける”小枝えんぴつ”を作ります。小刀を使って小枝をえんぴつの形に削るのが意外に大変です。



無心で作業を続けます

小刀や手動ドリルの使い方がだんだん分かってくると、黙々と作業を進めます。約1時間で”小枝えんぴつ”と”木の名札”を仕上げるために、みんな真剣です。



作品の完成！

自分で頑張って作ると、完成品に愛着がわきます。

“小枝えんぴつ”完成！
本当に字が書けるよ！



“木の名札”は
お母さんにあげる
お土産も作ったよ！

“もっと作りたい！”
“もう一回やりたい！”
という嬉しい嘆願をしてくれ
る子がたくさんいました。



チャレンジ木工

早く作業が終わった子は、好きな素材を選んでオリジナル作品作りにチャレンジしました。



次回の森林教室は、2年前にスギを植えたばかりの造林地へ行く予定です。また元気に活動しましょう！